

考試科目	日本文學	所別	日研所	考試時間	3月15日 星期日	第3節
------	------	----	-----	------	--------------	-----

日本文学(古典)

一、正しい答えを選びなさい。(10%)

- () 芭蕉の俳諧の理念ではないのはどれか。①しをり ②ほそみ ③かるみ
④きち
- () 近松門左衛門の作品ではないのはどれか。①『曾根崎心中』 ②『東海道四谷怪談』
③『国性爺合戦』 ④『心中天網島』
- () 読本の作家ではない人は誰か。①柳亭種彦 ②山東京伝 ③十返舎一九
④式亭三馬
- () 『古今集』の特色ではないのはどれか。①五七調 ②理知的 ③流麗
④技巧的
- () 和歌の八大集ではないのはどれか。①後拾遺集 ②詞花集 ③金葉集
④玉葉集
- () 軍記物語ではない作品はどれか。①平家物語 ②栄華物語 ③太平記
④保元物語
- () 成立年代が一番遅いのはどれか。①更級日記 ②和泉式部日記
③讃岐典侍日記 ④成尋阿闍梨母集
- () 新古今和歌集の特色ではないのはどれか。①幽玄 ②体言止め
③優美 ④象徴的
- () 「七月」と同じ月はどれか。①葉月 ②水無月 ③長月 ④文月
- () 本居宣長の作品ではないのはどれか。①『詞の玉緒』 ②『鈴屋集』
③『石上私淑言』 ④『冠詞考』

二、次の言葉を日本語で解釈説明してみよう。(12%)

- ①歌垣 ②防人歌 ③宣命書き ④自照性 ⑤枕詞 ⑥本歌取り

三、清少納言と紫式部について 200 字ほどの評論を書きなさい。(6%)

備考 試題隨卷繳交

命題委員： (簽章)

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日本文學	所別	日研所	考試時間	3月15日 星期日	第3節
<p>四、『万葉集』の成立や特徴や代表的な作者について述べなさい。(8%)</p> <p>五、次の原典を現代語訳してみよう。(14%)</p> <p>1、行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとどまることなし。世の中にある人とすみかと、またかくの如し。 (『方丈記』)(6%)</p> <p>2、世界の男、貴なるも賤しきも、「いかでこのかぐや姫を得てしがな、見てしがな。」と、音に聞きめでて感ふ。そのあたりの垣にも家のとにも居る人だに、たはやすく見るまじきものを、夜は安きいもねず、闇の夜に出でても穴をくじり、こゝかしこより覗き垣間見惑ひあへり。さる時よりなんよばひとはいひける。(『竹取物語』)(8%)</p> <p>< 請接下頁 ></p>						
備考	試題隨卷繳交					
命題委員：				(簽章)		日

命題紙使用說明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考 試 科 目	日 本 文 學	所 別	日 本 語 文 學 系	考 試 時 間	3 月 15 日 第 3 節
---------	---------	-----	-------------	---------	----------------

六、次の4つの作品の解説を行い、特に下線部に留意し、それぞれの設問に 200 字～400 字以内で答えなさい。(35 %)

(1)

A: <今の時代は物質的の革命によりて、その精神を奪はれつゝあるなり。その革命は内部に於て相容れざる分子の衝突より来りしにあらず。外部の刺激に動かされて来りしものなり。革命にあらず、移動なり。人心自ら持重するところある能はず、知らず識らずこの移動の激浪に投じて、自から殺るさざるもの稀なり。その本来の道義は薄弱にして、以て彼等を縛するに足らず、その新来の道義は根柢を生ずるに至らず、以て彼等を制するに堪へず。その事業その社交、その会話その言語、悉く移動の時代を証せざるものなし。斯の如くにして国民の精神は能くその発露者なる詩人を通じて、文字の上にはあらはれ出でんや。

国としての誇負、いづくにかある。人種としての尊大、何くにかある。民としての榮譽、何くにかある。適当大声疾呼して、国を誇り民を負むものあれど、彼等は耳を閉ぢて之を聞かざるなり。彼等の中に一国としての共通の感情あらず。彼等の中に一民としての共有の花園あらず。彼等の中に一人種としての共同の意志あらず。晏逸は彼等の宝なり、遊惰は彼等の糧なり。思想の如き、彼等は今日に於て渴望する所にあらざるなり。> (北村透谷「漫罵」明治 26. 10)

B: <我々のやっている事は内発的でない、外発的である。これを一言にして云えば現代日本の開化は皮相上滑りの開化であると云う事に帰着するのである。無論一から十まで何から何までとは言わない。複雑な問題に対してそう過激の言葉は慎まなければ悪いが我々の開化の一部分、あるいは大部分はいくら己惚れてみても上滑りと評するより致し方がない。しかしそれが悪いからお止しなさいと云うのではない。事実やむをえない、涙を吞んで上滑りに滑って行かなければならないと云うのです。> (夏目漱石「現代日本の開化」明治 40. 8)

● 設問：

北村透谷は明治初期の優れた文明批評家であった。以上の「漫罵」は近代日本文明の歪みを鋭くついた文章である。この文章を夏目漱石「現代日本の開化」の講演と対照させ、両者の指摘するところの、近代日本文明の意味を考え、説明しなさい。(6 %)

(2)

<「己の責任じゃない。必竟こんな気違じみた真似を己にさせるものは誰だ。そいつが悪いんだ」彼の腹の底には何時でもこういう弁解が潜んでいた。

平静な会話は波だった彼の気分を沈めるに必要であった。しかし人を避ける彼に、その会話の届きようはずはなかった。彼は一人いて一人自分の熱で燻ぶるような心持がした。常でさえ有難くない保険会社の勧誘員などの名刺を見ると、大きな声をして罪もない取次の下女を叱った。その声は

備	考 試 題 隨 卷 繳 交
命 題 委 員 :	(簽 章) 日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考 試 科 目	日 本 文 學	所 別	日 本 語 文 學 系	考 試 時 間	3 月 15 日 第 3 節
---------	---------	-----	-------------	---------	----------------

玄関に立っている勧誘員の耳にまで明らかに響いた。彼はあとで自分の態度を恥た。少なくとも好意を以て一般の人類に接する事の出来ない己れを怒った。同時に子供の植木鉢を蹴飛ばした場合と同じような言訳を、堂々と心の裡で読み上げた。

「己が悪いのじゃない。己の悪くない事は、仮令あの男に解っていなくっても、己には能く解っている」

無信心な彼はどうしても、「神には能く解っている」という事が出来なかった。もしそういい得たならばどんなに仕合せだろうという気さえ起らなかった。彼の道徳は何時でも自己に始まった。そうして自己に終るぎりであった。」(夏目漱石『道草』五十七)

● 設問：

『道草』においては、留学から帰った健三は大学教師になり、忙しい毎日を送っている。だがその妻お住は、夫を世間渡りの下手な偏屈者と見ている。そんな折、かつて健三夫婦と縁を切ったはずの養父島田が現れ金を無心する。さらに妹や妻の父までが現れ、金銭等を要求する。健三はなんとか工面して区切りをつけるが、最後に「世の中に片付くなんてものは殆どない」と吐き出す。作者が自分の分身である健三に対する厳しい批判を行うが、ここの魂を支配する神と格闘する意味ところにある、漱石の思想にある自己意識について、分析しなさい。(8%)

(3)

〈疲れ切ってはいるが、それが不思議な陶醉感となって感ぜられた。彼は自分の精神も肉体も、今、この大きな自然の中に溶込んで行くのを感じた。その自然というのは芥子粒程に小さい彼を無限の大きさに包んでいる気体のような眼に感ぜられないものであるが、その中に溶けて行く—それに還元される感じが言葉に表現出来ない程の快さであった。

何の不安もなく、睡い時、睡に落ちて行く感じにも多少似ていた。一方、彼は実際半分睡ったような状態でもあった。大きな自然に溶込むこの感じは彼にとって必ずしも初めての経験ではないが、この陶醉感は初めての経験であった。これまでの場合では溶込むというよりも、それに吸込まれる感じで、或る快感はあっても、同時にそれに抵抗しようとする意志も自然に起るような性質もあるものだった。しかも抵抗し難い感じから不安をも感ずるのであったが、今のは全くそれとは別だった。彼にはそれに抵抗しようとする気持は全くなかった、そしてなるがままに溶込んで行く快感だけが、何の不安もなく感ぜられるのであった。(略)

彼は今、自分が一步、永遠に通ずる路に踏み出したというような事を考えていた。彼は少しも死の恐怖を感じなかった。然し、若し死ぬならこのまま死んでも少しもうらむところはないと思った。

然し永遠に通ずるとは死ぬことだという風にも考えていなかった。」(志賀直哉『暗夜行路』大正 10. 1—昭和 3. 7)

備	考 試 題 隨 卷 繳 交
命 題 委 員 :	(簽 章) 日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考 試 科 目	日 本 文 學	所 別	日 本 語 文 學 系	考 試 時 間	3 月 15 日 第 3 節
---------	---------	-----	-------------	---------	----------------

● 設問：

この作品は志賀直哉の代表作であり、ここにとったのは、様々の苦悩のあげくに大山に逃れた時任謙作が、発病の上に、ある心境に到達する、小説の末尾の部分である。ここに表現される謙作の巨大な運行である自然との合一体験によって救済される描写について、批評してみなさい。(7%)

(4)

〈或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待つてゐた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗客はゐなかつた。外を覗くと、うす暗いプラットフオオムにも、今日は珍しく見送りの人影さへ跡を絶つて、唯、檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しさうに、吠え立ててゐた。これらはその時の私の心もちと、不思議な位似つかはしい景色だつた。私の頭の中には云ひやうのない疲労と倦怠とが、まるで雪曇りの空のやうなどんよりした影を落してゐた。私は外套のポケットへちつと両手をつつこんだ儘、そこにはいつてゐる夕刊を出して見ようと云ふ元気さへ起らなかつた。

が、やがて発車の笛が鳴つた。私はかすかな心の寛ぎを感じながら、後の窓枠へ頭をもたせて、眼の前の停車場がずるずると後ずさり始めるのを待つともなく待ちかまへてゐた。所がそれよりも先にけたたましい日和下駄の音が、改札口の方から聞え出したと思ふと、間もなく車掌の何か云ひ罵る声と共に、私の乗つてゐる二等室の戸ががらりと開いて、十三四の小娘が一人、慌しく中へはいつて来た、と同時に一つづしりと揺れて、徐に汽車は動き出した。一本づつ眼をくぎつて行くプラットフオオムの柱、置き忘れたやうな運水車、それから車内の誰かに祝儀の礼を云つてゐる赤帽——さう云ふすべては、窓へ吹きつける煤煙の中に、未練がましく後へ倒れて行つた。私は漸くほつとした心もちになつて、巻煙草に火をつけながら、始めて懶い睞をあげて、前の席に腰を下してゐた小娘の顔を一瞥した。

それは油気のない髪をひつつめの銀杏返しに結つて、横なでの痕のある靨だらけの両頬を気持の悪い程赤く火照らせた、如何にも田舎者らしい娘だつた。しかも垢じみた萌黄色の毛糸の襟巻がだらりと垂れ下つた膝の上には、大きな風呂敷包みがあつた。その又包みを抱いた霜焼けの手の中には、三等の赤切符が大事さうにしっかりと握られてゐた。私はこの小娘の下品な顔だちを好まなかつた。それから彼女の服装が不潔なのもやはり不快だつた。最後にその二等と三等との区別さへも弁へない愚鈍な心が腹立たしかつた。だから巻煙草に火をつけた私は、一つにはこの小娘の存在を忘れたいと云ふ心もちもあつて、今度はポケットの夕刊を漫然と膝の上へひろげて見た。すると其時夕刊の紙面に落ちてゐた外光が、突然電燈の光に變つて、刷の悪い何欄かの活字が意外な位鮮に私の眼の前へ浮んで来た。云ふまでもなく汽車は今、横須賀線に多い隧道の最初のそれへはいつたのである。

しかしその電燈の光に照らされた夕刊の紙面を見渡しても、やはり私の憂鬱を慰むべく、世間は余りに平凡な出来事ばかりで持ち切つてゐた。講和問題、新婦新郎、流職事件、死亡広告——私は

備	考 試 題 隨 卷 繳 交
命 題 委 員 :	(簽 章)

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考 試 科 目	日本文學	所 別	日本語文學系	考 試 時 間	3 月 15 日 第 3 節
---------	------	-----	--------	---------	----------------

隧道へはいつた一瞬間、汽車の走つてゐる方向が逆になつたやうな錯覚を感じながら、それらの索漠とした記事から記事へ殆機械的に眼を通した。が、その間も勿論あの小娘が、恰も卑俗な現実を人間にしたやうな面持ちで、私の前に坐つてゐる事を絶えず意識せずにはゐられなかつた。この隧道の中の汽車と、この田舎者の小娘と、さうして又この平凡な記事に埋つてゐる夕刊と、——これが象徴でなくて何であらう。不可解な、下等な、退屈な人生の象徴でなくて何であらう。私は一切がくだらなくなつて、読みかけた夕刊を抛り出すと、又窓枠に頭を靠せながら、死んだやうに眼をつぶつて、うつらうつらし始めた。

それから幾分か過ぎた後であつた。ふと何かに脅されたやうな心もちがして、思はずあたりを見まはすと、何時の間にか例の小娘が、向う側から席を私の隣へ移して、頻に窓を開けようとしてゐる。が、重い硝子戸は中々思ふやうにあがらないらしい。あの戦だらけの頬は愈赤くなつて、時々鼻涙をすすりこむ音が、小さな息の切れる声と一しよに、せはしなく耳へはいつて来る。これは勿論私にも、幾分ながら同情を惹くに足るものには相違なかつた。しかし汽車が今將に隧道の口へさしかからうとしてゐる事は、暮色の中に枯草ばかり明い両側の山腹が、間近く窓側に迫つて来たのでも、すぐに合点の行く事であつた。にも関わらずこの小娘は、わざわざしめてある窓の戸を下さうとする、——その理由が私には呑みこめなかつた。いや、それが私には、單にこの小娘の気まぐれだとか考へられなかつた。だから私は腹の底に依然として険しい感情を蓄へながら、あの霜焼けの手が硝子戸を擡げようとして悪戦苦闘する容子を、まるでそれが永久に成功しない事でも祈るやうな冷酷な眼で眺めてゐた。すると間もなく凄じい音をはためかせて、汽車が隧道へなだれこむと同時に、小娘の開けようとした硝子戸は、とうとうぱたりと下へ落ちた。さうしてその四角な穴の中から、煤を溶したやうなすす黒い空気が、俄に息苦しい煙になつて、濛々と車内へ漲り出した。元來咽喉を害してゐた私は、手巾を顔に当てる暇さへなく、この煙を満面に浴びせられたおかげで、殆息もつけない程咳きこまなければならなかつた。が、小娘は私に頓着する気色も見えず、窓から外へ首をのぼして、闇を吹く風に銀杏返しの鬢の毛を戦がせながら、ぢつと汽車の進む方向を見やつてゐる。その姿を煤煙と電燈の光との中に眺めた時、もう窓の外が見る見る明くなつて、そこから土の匂や枯草の匂や水の匂が冷かに流れこんで来なかつたなら、漸咳きやんだ私は、この見知らない小娘を頭ごなしに叱りつけてでも、又元の通り窓の戸をしめさせたのに相違なかつたのである。

しかし汽車はその時分には、もう安々と隧道を迂りぬけて、枯草の山と山との間に挟まれた、或貧しい町はづれの踏切りに通りかかつてゐた。踏切りの近くには、いづれも見すばらしい藁屋根や瓦屋根がごみごみと狭苦しく建てこんで、踏切り番が振るのであらう、唯一旒のうす白い旗が懶げに暮色を揺つてゐた。やつと隧道を出たと思ふ——その時その蕭索とした踏切りの柵の向うに、私は頬の赤い三人の男の子が、目白押しに並んで立つてゐるのを見た。彼等は皆、この曇天に押しすくめられたかと思ふ程、揃つて背が低かつた。さうして又この町はづれの陰惨たる風物と同じやうな色の着物を着てゐた。それが汽車の通るのを仰ぎ見ながら、一斉に手を挙げるが早いか、いたいけな喉を高く反らせて、何とも意味の分らない喊声を一生懸命に迸らせた。するとその瞬間である。

備	考 試 題 隨 卷 繳 交
命 題 委 員 :	(簽 章)

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考 試 科 目	日 本 文 學	所 別	日 本 語 文 學 系	考 試 時 間	3 月 15 日 第 3 節
---------	---------	-----	-------------	---------	----------------

窓から半身を乗り出してゐた例の娘が、あの霜焼けの手をつとのぼして、勢よく左右に振つたと思ふと、忽ち心を躍らすばかり暖な日の色に染まつてゐる蜜柑が凡そ五つ六つ、汽車を見送つた子供たちの上へばらばらと空から降つて来た。私は思はず息を呑んだ。さうして刹那に一切を了解した。小娘は、恐らくはこれから奉公先へ赴かうとしてゐる小娘は、その懷に藏してゐた幾顆の蜜柑を窓から投げて、わざわざ踏切りまで見送りに来た弟たちの労に報いたのである。

暮色を帯びた町はづれの踏切りと、小鳥のやうに声を挙げた三人の子供たちと、さうしてその上に乱落する鮮な蜜柑の色と——すべては汽車の窓の外に、瞬く暇もなく通り過ぎた。が、私の心の上には、切ない程はつきりと、この光景が焼きつけられた。さうしてそこから、或得体の知れない朗な心もちが湧き上つて来るのを意識した。私は昂然と頭を挙げて、まるで別人を見るやうにあの小娘を注視した。小娘は何時かもう私の前の席に返つて、不相変軋だらけの頬を萌黄色の毛糸の襟巻に埋めながら、大きな風呂敷包みを抱へた手に、しっかりと三等切符を握つてゐる。……………

私はこの時始めて、云ひやうのない疲労と倦怠とを、さうして又不可解な、下等な、退屈な人生を僅に忘れる事が出来たのである。〉（芥川龍之介「蜜柑」大正八年四月）

● 設問：

「蜜柑」における語り手の視線に支えられる娘の存在意味の変化をいくつかの段階に分けて、纏めてみなさい。それから、結びに出てくる私の心象風景の「不可解な、下等な、退屈な人生」の意味を芥川龍之介と関わらせ、娘との出会いの感動性を解析しなさい。（14 %）

七、小論文（15%）

ベネディクト・アンダーソンの『想像の共同体』（日本の邦訳 1997）以来、「国家」「国民」「国語」の形成について論議が盛んである。「国民国家」という「想像の共同体」の産出に、出版資本や「国民文学」が大いに関与していたという認識が共有されて以来、「文学」ことに「近代文学」は、芸術至上主義の座に安住していられなくなった。そういう意味から考えると、抑圧された「日本の母」という「女装した家父長制」も崩壊しつつある相を呈してきている。江藤淳の『成熟と喪失』（1967）は「近代と母性」の関係をキーワードに、戦後の日本社会を読み解いてみせたすぐれた文明批評である。こうした「母性」の文化的な言説を頭に表現した日本近代文学の作品、テクストを今日の文化批判の見地から脱構築の意味であなたの見解を述べなさい。

● 設問：

次のテーマで 500 字～800 字以内で論理的な構造を持った小論文を書きなさい。

テーマ：「日本近代文学における母の表象と病理」（15%）

備	考 試 題 隨 卷 繳 交
命 題 委 員：	（ 簽 章 ）

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日語	所別	日語系	考試時間	3月15日 星期日	第3節
------	----	----	-----	------	--------------	-----

答えは、全て日本語で答えなさい。

- 1、次の用語の意味を説明しなさい。(必ず例を挙げること) 10%
 - 1-1 東京式アクセントの特徴について (4)
 - 1-2 特殊音素 (3)
 - 1-3 連濁 (3)
- 2、次の二つの文の違いを発話場面を設定し、説明しなさい。10%
 - 1) よく噛むんですよ。
 - 2) 大よく噛むことです。
- 3、次の文は、接続詞の「それで」に関するものである。10% (2×5)
 - 3-1 次の文を、①意味の違い、②「だから」「そこで」に置き換えられるかを説明しなさい。
 - 1) 大雪で電車が不通になった。それできょうの旅行は止めることにした。
 - 2) A:「実は、きのう、彼と会ってきたの」
B:「そう、会ったの。それではっきりとお話をしてきた？」
 - 3-2 次の文は、なぜ不適格なのか、理由を説明し、正しい文に訂正しなさい。
 - 3) これ、間違ってるよ。それでしっかりと訂正しなさい！
- 4、次の下線部の文について、①正用は、「○」を書き、「誤用」は「×」を書き、②誤用であれば、正しい文に訂正し、理由を説明しない。10% (2×5)
 - 4-1 すみません、きょうは、風邪をひいて、声が出られないんですが…。
 - 4-2 怖かった！火事の現場で人が焼けられて死んでるのを見てしまったのよ。
 - 4-3 ああ、悔しい！きょう、負けたけど、今度こそ、絶対彼らに勝たれないように頑張るぞ。
 - 4-4 隣のお爺さんが奥さんを連れて温泉旅行に行ってくださったそうです。
 - 4-5 知ってる？夕べいつも図書館の前にいるあの小黄（野良犬の名）が子犬を3匹も産んでくれたのよ。とても可愛い。
- 5、次の文について、待遇表現から、その（言語の）待遇性と適格性を述べない。10% (5×2)
 - ① 先生、私が駅まで送ってさし上げますよ。（教え子が先生を送る場合）
 - ② 部長、このお人形を、お嬢さんにさし上げてください。（部長から手渡す場合）

備考 試題随巻繳交

命題委員： (簽章)

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日語語言學	所別	日本語文學系	考試時間	3月15日 星期日 第3節
------	-------	----	--------	------	------------------

6. 次の A グループの漢字の日本語の読み方と中国語の読み方には、ある共通点があります。また、B グループの漢字の日本語の読み方と中国語の読み方にも、ある共通点があります。その共通点を見つけ、日本語の読み方と中国語の読み方の規則を述べなさい。(5 点)

A グループ：因 限 民 間 詹 換 觀 万 金 山 陳 神 新

B グループ：応 項 明 強 張 皇 光 王 清 上 程 生 性

7. 動詞のテ形に接続する補助動詞の中でアスペクト性を持つものを 3 つ挙げ、それらがどのようなアスペクトを表すか説明しなさい。(10 点)

8. 形容詞語幹に接続して形容詞を名詞化する接尾辞「-さ」と「-み」の意味の違いを述べなさい。必ず、例文を作って説明してください。(10 点)

9. 「お父さんは帰って来たらすぐ食事だ。」と「お父さんが帰って来たらすぐ食事だ。」の 2 文について、①意味の違い、②構文の違い、③助詞のハとガの機能の違い、を説明しなさい。(10 点)

10. 小論文。「言語と思考」というテーマで文章を書いてください。(15 点)

備考 試題隨卷繳交

命題委員： (簽章)

命題紙使用說明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日本歷史	所別	日本語文學系	考試時間	3 月 15 日 星期日 第 3 節
------	------	----	--------	------	--------------------

一、次の表の①～⑩に該当する語を下の a～x から選び、記号で答えなさい。各問 2 分

中國 朝鮮 天 皇 事 項	唐													
	高 句 麗 668													
	百 濟 660													
	〔 ① 〕													
	舒 明	皇 極	孝 德	齊 明	中大兄 皇子 (称 制 ~668)	〔 ② 〕	弘 文	〔 ③ 〕	(称 制 ~690)	持 統	文 武	元 明		
	630	643	645	646	658	663	667	670	672	684	689	694	701	710
	〔 ④ 〕	山背大兄王自殺	蘇我氏の打倒	〔 ⑤ 〕	阿倍比羅夫蝦夷征討	白村江の戦い	〔 ⑥ 〕	庚午年籍作成	壬申の乱	八色の姓	〔 ⑦ 〕	〔 ⑧ 〕	〔 ⑨ 〕	〔 ⑩ 〕
	派遣			の詔			遷都			制定	施行	遷都	制定	遷都

- a. 高麗 b. 新羅 c. 朝鮮 d. 神武 e. 雄略 f. 崇神 g. 天智 h. 天武
- i. 遣唐使 j. 遣明使 k. 遣宋使 l. 大化改新 m. 王政復古 n. 建武新政
- o. 飛鳥京 p. 藤原京 q. 近江京 r. 平城京 s. 平安京 t. 近江令 u. 飛鳥淨
御原令 v. 大宝律令 w. 養老律令 x. 永徽律令

備 考 試 題 隨 卷 繳 交

命 題 委 員 : (簽 章)

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日本歷史	所別	日語文學系	考試時間	3月15日 星期日	第3節
------	------	----	-------	------	--------------	-----

二、次の用語の意味を1～3の中から選び、記号で答えなさい。各問4分

a. 地頭

1. 平安時代に荘園領主が荘園の管理をするために置いた役職。年貢の徴収と徭役労働の負担を農民に課した。
2. 鎌倉幕府が御家人に対して与えた役職。治安維持・犯罪の取締りという警察的任務を基本職務とし、幕府は地頭制度によって社会秩序の要の機能を掌握した。
3. 江戸時代における農村の管理者。兵農分離によって農村は農民だけになったので、江戸幕府は治安維持のために有力農民を地頭に任命した。

b. 受領 (ずりょう)

1. 平安時代、任国に赴いた国司の最高責任者。京から多数の郎等を引き連れて強力な支配と徴税を実現した。税物は京周辺に貯納され、国家財政を支える一方で私富も蓄えた。
2. 鎌倉幕府が国ごとに設置した役職。謀反人や殺害人を追捕し、京の内裏の警護役である大番役を催促する権限が守護に与えられて、この職権は大犯三箇条として御成敗式目にも規定されるに至った。
3. 室町時代に荘園を管理するものに与えられた役職。職務とそれに伴う収益権を一体としており、やがて荘園を横領して在地領主化していった。

c. 太閤検地

1. 律令国家が行った土地調査。班田給付のために三年に一度ずつ実施されることになっていたが、平安時代初期には廃止された。
2. 鎌倉幕府が行った土地調査。元寇の対策として臨時課税のために行った。
3. 豊臣秀吉が行った土地調査。年貢負担額と年貢負担者を確定し、近世領主制の基礎を作った。

d. 遠国奉行 (おんごくぶぎょう)

1. 平安時代に朝廷から任命された地方官職。治安維持のために臨時に任命され、国司はその指揮下で犯罪者の取締りを行った。

備	考	試	題	随	巻	繳	交
命題委員：							(簽 章)

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日本歷史	所別	日本語文學系	考試時間	3月15日 星期日	第3節
------	------	----	--------	------	--------------	-----

2. 室町幕府が九州統治のため博多に置いた行政機関。南朝勢力や少貳氏を抑え、九州の幕府支配権を確立した。
3. 江戸幕府が江戸以外の要地に置いた奉行の総称。老中支配で、多くは旗本が任じられた。京都・大坂・駿府には町奉行が、伏見・奈良・堺・長崎などには奉行が置かれた。

e. 寛政改革

1. 江戸幕府8代将軍徳川吉宗の行った幕府再建のための諸改革を総称したもの。
2. 江戸時代中期、老中松平定信の行った改革。
3. 江戸時代後期、老中水野忠邦の行った改革。

三、つぎの文は、エルヴィン＝ベルツの滞日中の日記の一部である。これを読んで次の問に答えなさい。 20%

東京全市は十一日の立憲法発布をひかえて、その準備のため、言語を絶した騒ぎを演じている。到るところ、奉祝門、照明、行列の計画。だが、滑稽なことには、誰も憲法の内容をご存知ないのだ。

- 問 (1) 「憲法発布」とあるこの憲法の正しい呼び名は何というか。
- (2) 「十一日」とあるのは (1) 明治何年何月か、また (2) 西暦何年か。
- (3) この憲法制定にあたって直接関係のある人五名を、つぎの人のなかからえらび、番号で答えなさい。①山県有朋 ②伊藤博文 ③黒田清隆 ④大久保利通 ⑤岩倉具視 ⑥大隈重信 ⑦井上毅 ⑧伊東巳代治 ⑨金子堅太郎 ⑩松本烝治 ⑪高野岩三郎 ⑫グナイスト ⑬ロエスレル
- (4) この憲法はどこの國の憲法を模範としたか。
- (5) エルヴィン＝ベルツはどういう人か、つぎからえらび、符号で記しなさい。

- a. アメリカの動物学者 b. イギリスの文学者 c. ドイツの医学者
d. ロシアの哲学者 e. フランスの法学者

四、佐藤首相は、アメリカの北爆を支持し、訪米のたびに「佐藤訪米阻止」の国内デモに遭遇しながらも、なぜ沖縄の「核抜き、本土並み」返還を追及し、繊維問題で簡単には譲歩しなかったのかを、以下のキーワードを用いて、約300字で具体的に説明してください。沖縄返還、学生反乱 20%

五、小論文 (本題中、日文作答皆可) 20%

「靖國神社」問題を歴史的にどう認識したらよいか、800字以内で述べなさい

備 考 裁 題 隨 著 繳 交

命 題 委 員 :

(簽 章)

命題紙使用説明: 1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。